

急がれる体育館空調

千葉県では台風15号のた17日午前10時の時点で上陸から1週間が経過しても、約6万4600軒が

停電している。市民生活や産業活動に最も大きな影響を与える「ライフライン中のライフライン」

自立型P型自立型電源G

HP導入を提案しているが、働きかけをさらに強化し早期導入を図る必要

照明、コンセントに供給でき、パソコン使用やスマートフォン

と合わせて、最大224キワット(80馬力相当)の対応策ができる。

アイシン精機の「ハイパワープラス」も停電時に発電電力で空調、照明、通信機器などが使用できる。同機も冷房能力56キワット(20馬力相当)のシステムで、自立発電時の供給電力は空調使用時は最大2キワット、発電のみ時は最大3キワットまで可能。停電発生時のGHP起動は、自立切替盤のモード選択スイッチで「発電のみ」または「空調+発電」を選択し、運転ボタンをONにするだけの簡単な操作だ。

避難所の生活支える

台風15号での停電を教訓に

自立型P型自立型電源G

といわれる電気の停止は、水や食料の確保など、生命に関わる事態を引き起こす。空調の停止もその一つだ。現在、LPガス業界では全国の自治体に対し、避難所となる公立学校体育館へのG

機がラインアップされたバッテリーでエンジンが起動して運転を開始する。ハイパワーエクスセルは4キワットクラスの小型発電機を搭載し、系統

は復旧が早く、現地にインバーター出力が最大3・5キワット。自機使用分外機以外に供給できる

最大3台のハイパワーエクスセルプラス

を押しただけで、搭載したバッテリー電源によって自立運転を開始する。搭載している発電機の発電電力(空調使用時は1・1キワット、空調使用時は2・1キワット)は、室内機や照明、コンセントに供給

できるからだ。そして、3・5キワット。自機使用分外機以外に供給できる

を押しただけで、搭載したバッテリー電源によって自立運転を開始する。搭載している発電機の発電電力(空調使用時は1・1キワット、空調使用時は2・1キワット)は、室内機や照明、コンセントに供給

できる。同機も冷房能力56キワット(20馬力相当)のシステムで、自立発電時の供給電力は空調使用時は最大2キワット、発電のみ時は最大3キワットまで可能。停電発生時のGHP起動は、自立切替盤のモード選択スイッチで「発電のみ」または「空調+発電」を選択し、運転ボタンをONにするだけの簡単な操作だ。

多くの電力が必要な場合に、LPガス非常用発電機を備えれば一般のGHPを稼働させることができる。



千葉・鋸南町の指定避難所(鋸南小学校体育館)